

平成25年度入試【推薦入試Ⅰ】

【小論文】

(法文学部 社会文化学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は4ページである。解答用紙は3枚、下書き用紙は3枚である。  
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

- 1 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(橋本治『その未来はどうか?』より。一部改変。)

注 ドメスティック：家庭の、家事の、家族の

問 下線部①のような理由で、現在増加しているものを1つあげなさい。次に、それが増加している状況を説明し、あなた自身の考えを述べなさい。

なお、字数は400字程度とし、取りあげる事例は、筆者が本文中で用いたもの以外とすること。

2 次の文章を読み、後の問い（問1～問2）に答えなさい。

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(湯浅誠「私の社会保障論」『毎日新聞』2012年10月26日付より。一部改変。)

問1 下線部①について、これまでの日本社会において「血縁(家族)・地縁(地域)・社縁(会社)などのコミュニティー」は、人々をどのように支えてきたと考えられるか。それぞれについて具体的な事例をあげて説明しなさい。

問2 本文に関連して、福祉の担い手としては一般に、行政・営利サービス・ボランティア・家族などが考えられる。このうち、行政に高福祉を期待すれば税金などの負担が、営利サービスに期待すれば採算が、ボランティアに期待すれば参加者の確保が、家族に期待すれば成員の時間と労力の負担が、それぞれ問題となる。

このことを踏まえて、今から30年後の日本を想定し、そこでどのような社会的問題が発生しているかを具体的にあげながら、あなたが考える望ましい福祉のあり方について述べなさい。